

平成23年度

市民意識アンケート調査の結果

くわしくは 秘書広報課 広報広聴係 ☎(21)5135

アンケート調査の実施理由

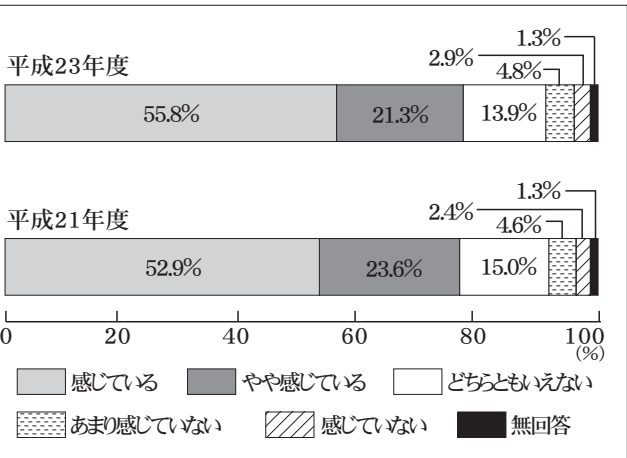
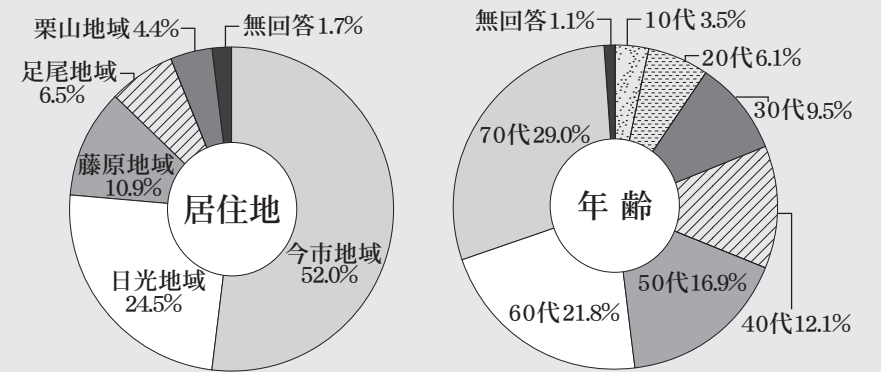
市では、平成20年度に制定した「日光市まちづくり基本条例」に基づき、市民と行政による協働のまちづくりに取り組んでいます。しかし、日光市をさらに魅力あるまちにしていくなめには、豊かな自然条件や歴史的条件などを最大限に活用するとともに、市民との協働のまちづくりをより一層進める必要があります。そこで、日光市民の中から無作為に抽出した方を対象に、市政に関する意識調査として「平成23年度市民意識アンケート調査」を行いました。今回は、調査結果の中から、特に関心の高いと思われる項目について、平成21年度の調査結果と比較しながらお知らせします。

※比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。

❖調査の概要❖

対 象	市内に居住する満15歳以上の方
方 法	郵送による記入調査
期 間	平成23年6～7月
抽出方法	無作為抽出
抽 出 数	8,500名(男性4,250名 女性4,250名)
回 収 数	3,170名(男性1,401名 女性1,570名 性別無回答199名)
回 収 率	37.3%(男性33.0% 女性36.9% 性別無回答4.7%)

❖回答者の内訳❖



あなたは、日光市に愛着を感じていますか？

「感じている」と「やや感じている」の割合を合わせると、77.1%の人が日光市に愛着を感じていると答えています。

また平成21年度と比べて、「感じている」の割合が2.9%上がり、愛着度が高まっている傾向が見られます。

日光市の施設や行政サービス、環境などについて、それぞれどのように感じていますか？

平成21年度と比べた場合、20項目のうち17項目について、満足度が上がっています。また満足度が下がった3項目のうち、特に「働きがいのある職場」は、満足度が大きく下がるとともに、全項目の中で最も低い満足度となりました。

なお、今回4つの項目を新設しました。

- ❖満足度が高かった項目
- 自然環境の豊かさ
- 火災や災害からの安全性
- ごみの収集・処理の状況
- 下水・排水の処理状況
- 交通事故や犯罪に対する安全性
- ❖満足度が低かった項目
- 働きがいのある職場
- 交通機関の便しさ
- 市街地の街並整備状況
- 農林水産業の振興
- 日常の買い物の便しさ



あなたは、これからも日光市に住み続けたいですか？

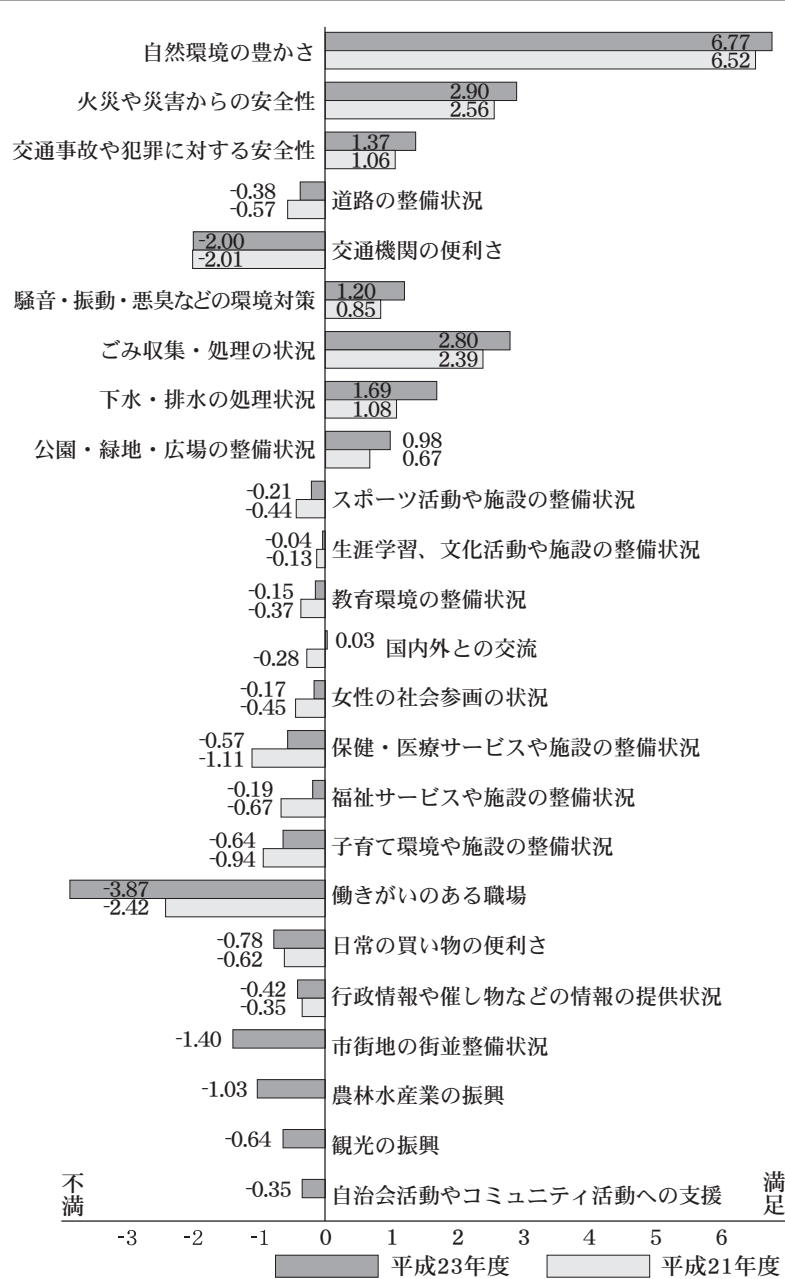
「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の割合を合わせると、75.2%の人が住み続けたいと答えています。これは、平成21年度の75.5%とほとんど変わらず、横ばいの傾向が見られます。

❖「住み続けたい」主な理由

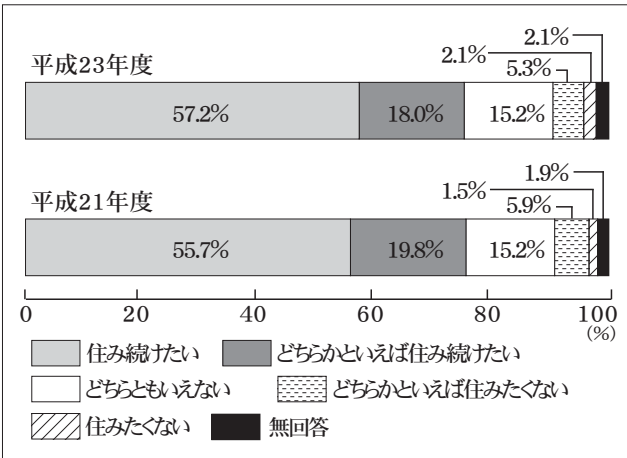
- 自然が豊かだから(76.8%)
- 史跡や文化財、伝統文化が残っているから(30.2%)

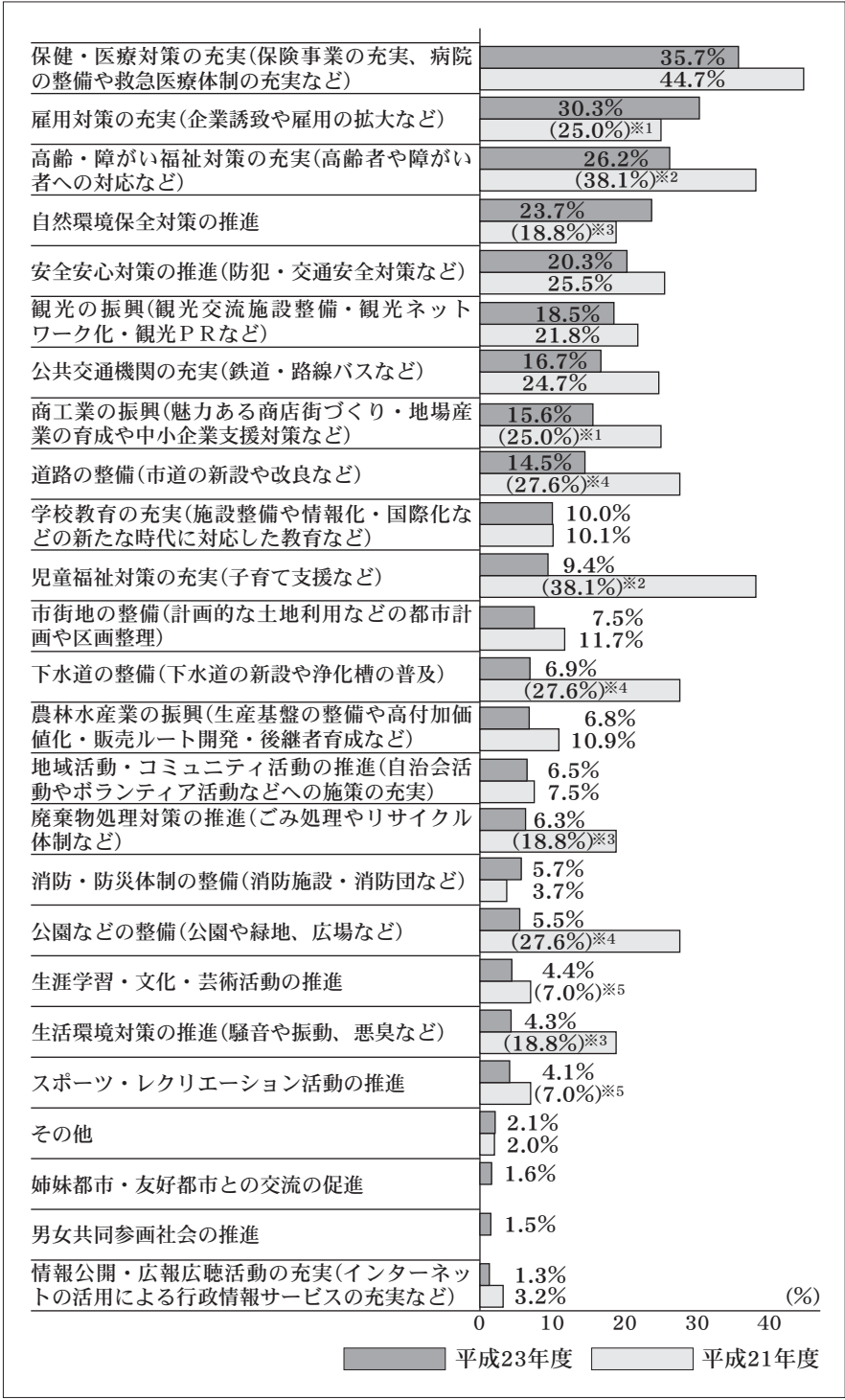
❖「住みたくない」主な理由

- 日常の買い物が不便だから(57.4%)
- 道路事情や交通の便が悪いから(46.4%)



満足度の計算方法 20項目を5段階で評価してもらい、それぞれ次のように計算して満足度を算出 (「満足」10点 × 回答者数)+(「やや満足」5点 × 回答者数)+(「やや不満」-5点 × 回答者数)+(「不満」-10点 × 回答者数) ÷ 回答者合計=満足度の点数 ※「どちらともいえない」は0点。





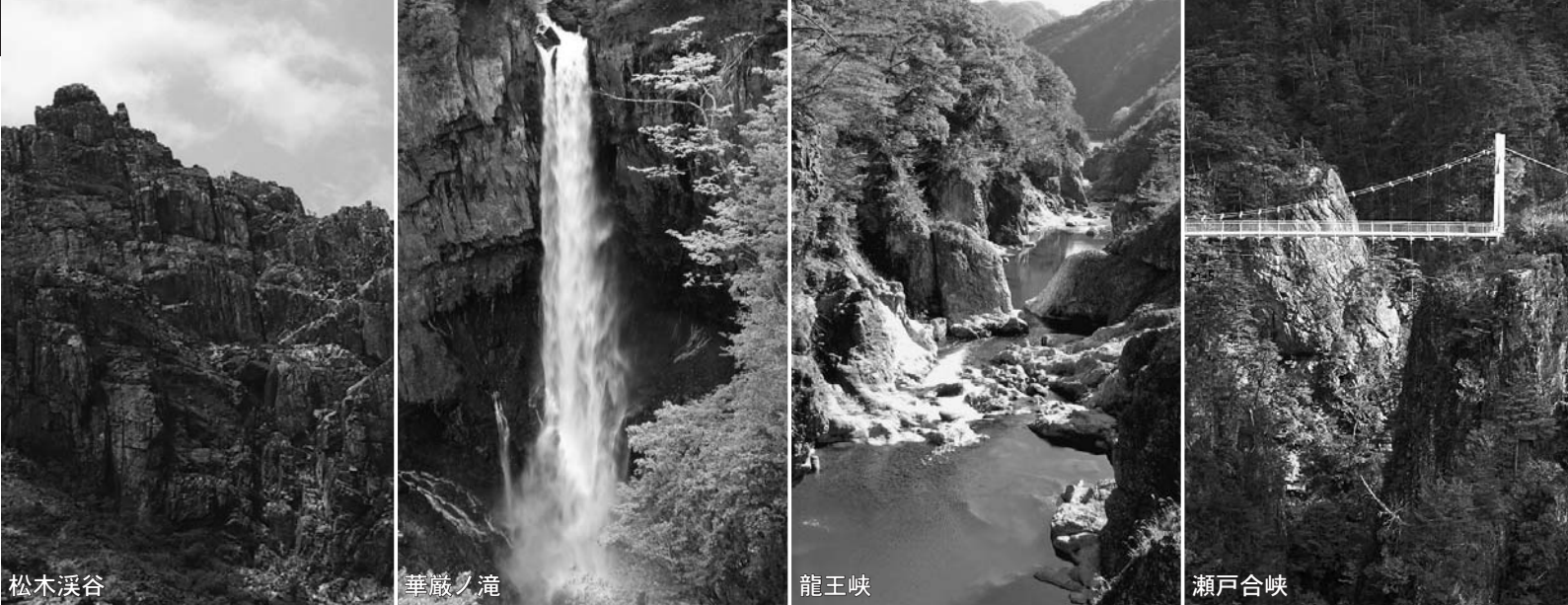
あなたは、日光市が重点的に取り組むべき施策は何だと思いますか？（3つ選択）

この設問は、市が重点的に取り組むべき施策を聞いたもので、市の施策に対する要望が現れています。「保健・医療対策の充実」が35.7%で第1位。次いで「雇用対策の充実」が30.3%、「高齢・障がい福祉対策の充実」が26.2%、「自然環境保全対策の推進」が23.7%の順となりました。

回答結果の上位を見ると、保健・福祉分野の施策に対する要望が強いのは平成21年度と同じですが、新たに雇用や自然環境保全の施策への要望が高まっていることが分かります。なお今回は、項目の細分化や新設を行いました。左のグラフにおいて、平成21年度の割合をかつこで表示したものは細分化した項目です。かつこ内の数値が同じ項目は、前回一つの項目であったことを意味します。



新設開業の産婦人科病院

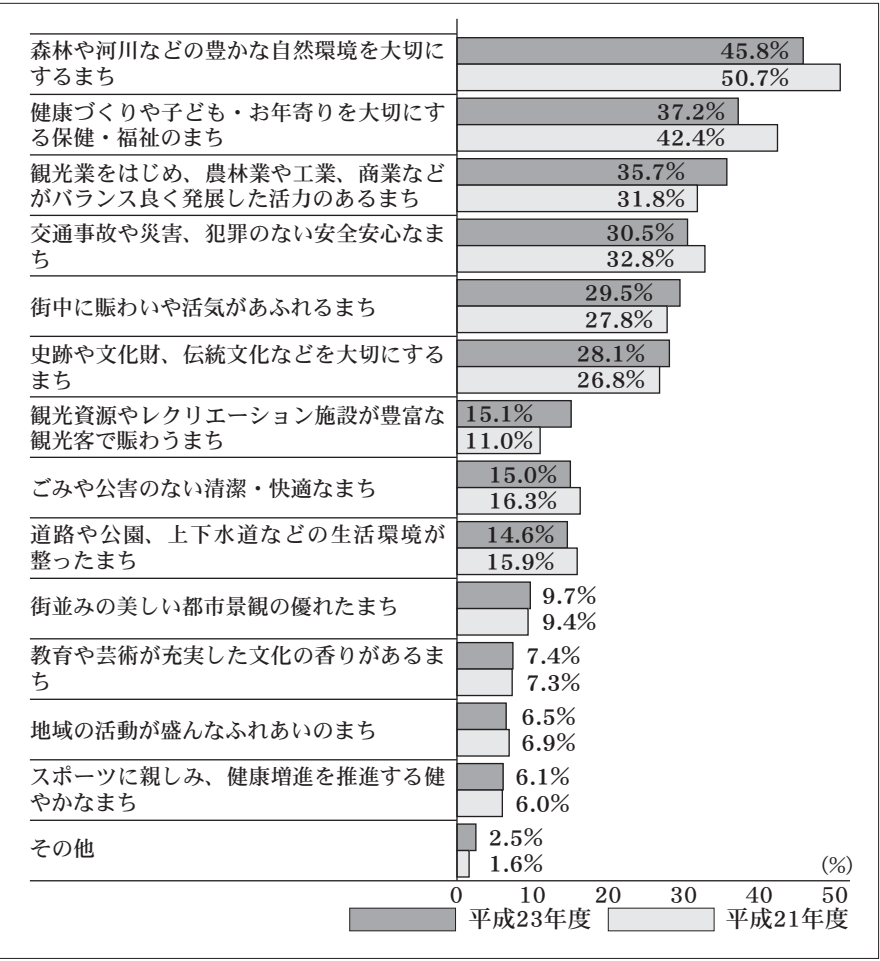


松木溪谷

華嚴ノ滝

龍王峡

瀬戸合峡



あなたは、将来の日光市をどのようなまちにしたいですか？（3つ選択）

この設問は、日光市の将来のまちづくりのイメージについて聞いたものです。「森林や河川などの豊かな自然環境を大切にするまち」が45.8%で第1位。次いで「健康づくりや子ども・お年寄りを大切にする保健・福祉のまち」が37.2%、

「観光業をはじめ、農林業や工業、商業などがバランスよく発展した活力のあるまち」が35.7%、「交通安全や災害犯罪のない安全安心なまち」が30.5%の順でした。平成21年度と比べた場合、3位と4位の項目で順位が入れ替わっています。また、前回9位の「観光資源やレクリエーション施設が豊富な観光客で賑わうまち」が、7位に順位を上げています。

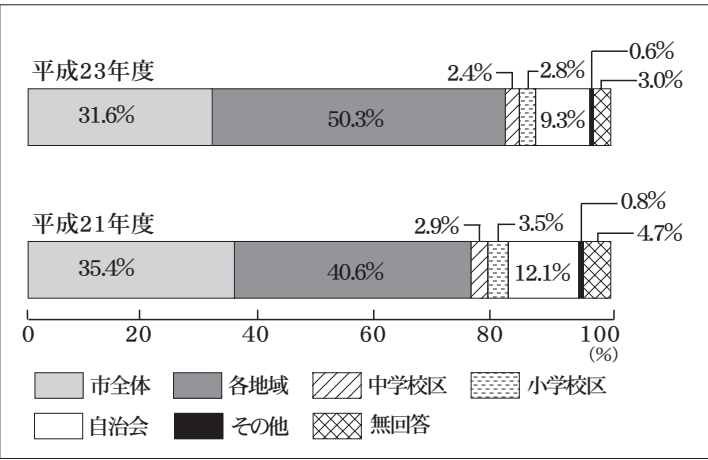
自由意見

市政についての自由意見を伺ったところ、95名の方から1,475件のご意見・ご提案などをいただきました。意見の概要を分類・整理したところ、次のような結果となりました。

❖意見が多かった項目

- まちづくりに関すること(133件)
- 道路に関すること(110件)
- 市職員に関すること(91件)
- 観光の振興に関すること(84件)
- 合併に関すること(53件)
- 高齢者に関すること(52件)
- アンケートに関すること(50件)
- 子育て支援に関すること(48件)
- 交通に関すること(46件)
- 放射線量に関すること(45件)
- 税金などとその使い道に関すること(35件)
- 安全安心に関すること(33件)
- ごみに関すること(31件)
- 学校教育に関すること(29件)
- 病院に関すること(28件)
- スポーツに関すること(28件)
- 商工業の振興に関すること(27件)
- 市議会・議員に関すること(26件)
- 生涯学習に関すること(23件)
- 景観に関すること(21件)

※調査結果は市ホームページにも掲載しています。



あなたは、地域づくりやまちづくりを行う場合、一番ふさわしい単位は、どれだと思いますか？

この設問は、日光市の地域づくり・まちづくりにふさわしい単位について聞いたものです。「各地域」と答えた方が最も多く50.3%、次いで「市全体」が31.6%、「自治会」が9.3%の順でした。平成21年度と比べた場合、全ての項目で順位に変わりはありません。しかし、「各地域」が約10ポイント増加したことで、他の項目の割合が全て減少する結果となりました。